

イルミネーション・アワードについて

(一社)夜景観光コンベンション・ビューローが、年々多様化するイルミネーション&エンタテインメントの新たな価値基準を創造すべく開設。全国 4,300 名の夜景鑑賞士(夜景鑑賞士検定の有資格者)を対象に、「実際に行ってみて良かった冬期イルミネーション」という項目で国内約 150 施設を対象にアンケートを実施し、得票ポイントにてランキングされ、決定されたものです。

ランキングは、昨今のイルミネーションの多様化を考慮し、各施設への投票数を元に、「総合エンタテインメント部門」と「イルミネーション部門」の2部門で構成されています。「湘南の宝石」は、2013 年に「総合エンタテインメント部門」で、準グランプリを受賞しています。

夜景鑑賞士・・・夜景の魅力を知り、夜景の知識を深めることで日々の生活に潤いをもたらしつつ、夜景の観光的価値を理解するという趣旨のもと始まった「夜景鑑賞士検定」の有資格者。

イルミネーション部門・・・イルミネーション装飾をメインに使用し、演出展開する冬期イルミネーションイベントが対象。

総合エンタテインメント部門・・・イルミネーション装飾のみならず、映像やライティング技術、アトラクション施設、関連イベント等との組合せ傾向が強い冬期イルミネーションイベントが対象。

関東三大イルミネーションについて

関東を代表する冬期のイルミネーションとして、日本夜景遺産事務局(運営:(一社)夜景観光コンベンションビューロー)が2012年10月に「湘南の宝石」「あしかがフラワーパーク」「東京ドイツ村」の3施設を「関東三大イルミネーション」に認定しました。

日本夜景遺産について

「日本夜景遺産」とは、日本各地に埋もれている美夜景を再発見&発掘し、一定の価値を付与することで観光資源としての成立を目指し、認定された夜景の価値を内外に訴求する活動で、「日本夜景遺産事務局」(運営:(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー)が認定しています。夜景による国内初の認定ブランドとして2004年度にスタートし、毎年10~20ヶ所の夜景遺産地が誕生しています。

「日本夜景遺産」には「自然夜景遺産」「施設夜景遺産」「ライトアップ夜景遺産」「歴史文化夜景遺産」の4つがあり、2013年に湘南の宝石が「ライトアップ夜景遺産」に認定されました。江の島シーキャンドルはすでに、「施設夜景遺産」に認定されており、1施設での複数認定は全国初となっています。

江の島シーキャンドルの「施設夜景遺産」は江の島シーキャンドルから眺める夜景、「ライトアップ夜景遺産」は湘南の宝石が認定されています。